

■鈴木牧之 俳人、著述家。挫折を繰り返しながら出版に生涯をかけた「北越雪譜」は、民俗資料としても貴重なもの。

すずきぼくし
・・・・・・・・1770＝ 越後国塩沢で、_豪商で俳人の常右衛門(俳号は牧水)の子生まれる。

田沼意次老中1772＝ 2歳：

・・・・・・・・1777＝ 7歳：以後、5年間、近所の大運寺快運法印に手習いをうける。

源内獄中死・1779＝ 9歳：

蘭学階梯・・1783＝13歳：今成家に泊まり、20日間ほど狩野梅笑(法橋玉元)に画を習う
意知刺殺事件1784＝14歳：「中華十三省図」を写す。町内徳昌寺虎斑に詩作を習う。
蝦夷初調査・1785＝15歳：元服、義三治と改名、_俳号を牧之とする。
田沼意次失脚1786＝16歳： 傾いていた家業の縮布の仲買業を継ぎ、
・・・・・・・・1788＝18歳：縮80反を持ち、初めて江戸へ商に出る。書家沢田東江に入門。江ノ島、鎌倉方面を廻り「東遊紀行」を書く。
初の横綱・・1789＝19歳：刻苦精励して財をなす。
異学の禁・・1790＝20歳：耳の素人治療に失敗し、一生難聴に苦しむ。

ヲクサン来日・ 1792＝22歳：結婚。

松平定信引退1793＝23歳：

ポルト来航・1796＝26歳：*伊勢に参宮、西国三十三カ所を巡礼し、「西遊記神都詣西国順礼」を書く。この頃、山東京伝と文通を始め、「北越雪譜」の出版を依頼する。滝沢馬琴とも文通を始める。

昌平黌始・・1797＝27歳：

伊能測量始・1800＝30歳：浦佐普光寺毘沙門天に「十評奉納句」を奉納、父牧水以来の友人の短冊をまとめ、「筆かがみ」に仕立てる。

一九膝栗毛始1802＝32歳：この頃、_京伝に依頼した「雪譜」の刊行を断念する。馬琴にも断られる。

いづノ報復・ 1806＝36歳：牧水70の賀、茂号50賀に、「賀春帳」を版行。
りッ船狼藉・ 1807＝37歳：父牧水が死去。_大阪の岡田玉山上に草稿を送り出版を依頼するが、
フェイト号事件 1808＝38歳：_玉山が死去して、出版計画が挫折。
浮世風呂・・ 1809＝39歳：郡代梶原雄三郎より小千谷陣屋で褒賞を受ける。

ゴロブニ拿捕 1811＝41歳：苗場山に登山し、「苗場山記行」を書く。
高田屋拿捕・ 1812＝42歳：「短冊張交屏風」一双仕立てる。_訪れた鈴木芙蓉に「雪譜」出版を依頼する。
浮世床・・ 1813＝43歳：母が死去。

・・・・・・・・1815＝45歳：
伊能測量終・1816＝46歳：草津温泉に行き、「草津霊泉入湯記」を書く。_山東京伝・鈴木芙蓉が死去して、「雪譜」出版計画が挫折。
杉田玄白没・1817＝47歳：六日町坂戸城跡に登山し、「坂戸山絵図」を書く。「永世記録帖」を書き始める。
水野忠成老中1818＝48歳：*「雪譜」について、馬琴と本格的な交渉を始める。十返舎一九が来て、牧之宅に滞在。馬琴が牧之がおくった「雷獣之図」を「玄同放言」に載せる。京山と文通し始めたのはこの頃か。

群書類従完結1819＝49歳：日本海岸を行脚して「北海雪見行脚集」を書く。2度目の江戸行き、耳の治療するも効果なし。_馬琴・一九・蜀山人らを訪問。帰宅後、「東遊記行」を書く。馬琴が「北越雪譜」の広告を出す。

・・・・・・・・1820＝50歳：古志郡20村へ牛の角突き見物、その絵を馬琴に送る。「永世記録集一番帳」この日で終わる。
伊能図完成・1821＝51歳：「永世記録集」「周月葦爽句集」編著。_馬琴が合巻に牧之の名を出し、以後数年頻出し、交流が深まる。
英船浦賀来航1822＝52歳：「帳交屏風」を作る。「屏風名寄帳」編著。樺沢城跡に登り、友人らと詩を作る。

シボム来日・ 1823＝53歳：雲洞庵に宇佐美定満の石碑建立。
シボム鳴滝塾1824＝54歳：「夜職草」執筆。「永代庚申帖」を編む。
異国船打払令1825＝55歳：家新築落成。「峨眉山下橋柱」の漢詩を作る。
・・・・・・・・1826＝56歳：菅谷不動尊を参詣し、「菅谷不動尊詣」を書く。
日本外史・ 1827＝57歳：岡野町・松之山・水沢を廻って「岡之町、松之山記行」を書く。
シボム事件・1828＝58歳：秋山郷に行き「秋山記行」を書き始める。「永世記録集」終わる。_馬琴が河内屋に「北越雪譜」の出版を依頼。
シボム追放・1829＝59歳：60の賀。「秋山記行」草稿書き終わる。_京山から「雪譜」の出版をうながす書簡届き、以後催促される。
富籤流行・・1830＝60歳：還暦祝い。家業を勘右衛門に譲り、隠居。戯作「廣大寺躍」を京山に送り、出版を依頼。「秋月葦爽句集」を編み始める。自筆山水画に賛を良寛に依頼する。_「雪譜」の出版を馬琴から京山に変更する。京山「雪譜」の書名を「北越雪中図彙」と提案。

富嶽三十六景1831＝61歳：_馬琴「雪譜」一連の件で京山を批判し、両者の間が険悪となる。京山宅改築中、以前牧之が京伝に送った「雪譜」の原稿、雪具の雛形を発見。

鼠小僧磔・・1832＝62歳：_牧之の原稿を見て京山感心する。
天保大飢饉始1833＝63歳：別本「夜職草」を書く。_「雪譜」の原稿京山に届く。
高島砲術・・1834＝64歳：_京山が「雪譜」原稿の一部が火災で消失したことを伝えてくる。同時に「雪譜」の校合料5両を請求する。「夜職草」京山に送り出版を依頼するが、教訓物は売れぬと断られる。

滑稽+人情本 1835＝65歳：_京山は馬琴を訪問「雪譜」版元を丁字屋にしたい相談序文を馬琴に頼むが、断られる。「雪譜」の校合料5両京山に届く。「北越雪譜」正式名決まる。上之巻筆耕完成。京山宅に「雪譜」下之巻の原稿届く。

・・・・・・・・1836＝66歳：京山父子来訪中、中風を発病し、湯治に行く。病気悪化、その後奇跡的に快復。_「雪譜」中之巻筆耕完成。
大塩平八郎乱1837＝67歳：白内障で右目失明に近い。*「雪譜」初編刷り上がり手元に届く。「雪譜」売り出され評判となる。続編執筆。
適塾オープン・ 1838＝68歳：「秋月葦爽句集」欄外追記終わる。
蛸社の獄・・1839＝69歳：中風のため二階に籠もりがちとなる。古希の祝い盛大。前書きある短冊を配る。「遺書」3巻を書き上げる。
勸進帳初演・1840＝70歳：歳旦摺り物、儀の絵を配布。_「雪譜」2編凡例、序を京山執筆。
天保改革始・1841＝71歳：馬琴の失明を心配。慮呂句集「穴熊集」に跋を書く。_「雪譜」2編春之巻から売り出される。
天保改革弾圧1842＝72歳：*「雪譜」2編広めの手紙を印刷して知己に配るうち、没した。没後、「雪譜」2編之夏・秋・冬之巻売り出す。

野島出版「北越雪譜」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、日本の古典名著、